

保育目標の達成	職員間の連携	地域とのコミュニケーション
<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気に笑顔で挨拶が出来る子 ・やってみようという気持ちを持って積極的にチャレンジする意欲がある子 ・友だちや異年齢児との関わりの中で協力して達成する経験を通して思いやりの気持ちを育む。 <p>【達成度A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症対策の一つとして、登園時に全園児に検温を行う流れの中で、朝の挨拶や言葉を交わす機会が確立されてしっかりと顔を見合わせることで笑顔が多く見られるようになった。 ・登降園や戸外で外部の人に会った時などは元気に挨拶できている。また、何か手伝ってもらった時は感謝の気持ちが言葉で自然と出ている。 ・子どもたちの『やってみたい』を引き出し、それを実現できるよう活動を計画したことで、様々なことに挑戦しようという気持ちを持つことができた。 	<p>一人ひとりの園児に丁寧に接し、それぞれの成長や発達、性格等に合わせた援助を職員間で考えながら行うことができた。何より、安心して過ごせる環境作りや、自分でやりたいという気持ちを育み、自分ですることの楽しさを積み重ねていくことで、自信に繋げていけるように共通理解を図り、また、子どもたちの伝えたい気持ちを感じ、待ち、つぶやきやしぐさに共感しながら発語や表現する喜びを育てていけるように、職員間で共有し連携して保育に臨めた。</p> <p>フロア内での役割や仕事を明確にし、声を掛け合いながら円滑に保育が進むように心掛けていった。週に一度、担任間で週案を話し合う場を設けたことで、互いのクラスの理解を深めることができた。戸外活動と一緒に出掛けたり縦割りで活動するなど、互いのクラスの状態をよく知り保育のフォローや行事の連携をしっかりと図ることができた。</p> <p>乳児クラスと幼児クラスとの職員間の連携や子どもや保育環境において関わりを深く持ち、乳児と幼児の生活のリズムを大切にしながら、園全体での交流を増やして、乳児への優しい関わり方や思いやりの気持ちや、幼児を真似て試行錯誤しながら挑戦する力を育てた。。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策の影響で感染予防対策をギリギリまで考慮して企画したが、直前で中止になる事が多く、予定したほぼすべての交流ができなかった。</p> <p>感染症対策を行いながら地域との交流をすることの難しさを実感した。</p> <p>地域とのコミュニケーションではないが、登園自粛をはじめ長期欠席している子どもの保護者に対して孤立させないよう取組として定期的に電話連絡を行い、不安定になっている家庭には支援センターなどの地域資源を活用した包括的な見守りを行えた。</p>

この評価のつけ方：

施設長・主任による各職員への聞き取り

達成度 A よくできている B 出来ている C 未達成